

共生人間学専攻外国語教育論講座

西山教行研究室へようこそ

言語政策, 言語教育学, フ  
ランス語教育学へのお誘い  
2015.8

## 教員紹介



- 教授 西山教行
- 研究分野：言語政策、言語教育学、フランス語教育学、異文化間教育、フランス社会文化論、植民地教育など
- 主な担当科目：フランス語（共通教育，1回生，2回生），言語政策論（総合人間学部），外国語教育政策論（大学院）

# 研究テーマ



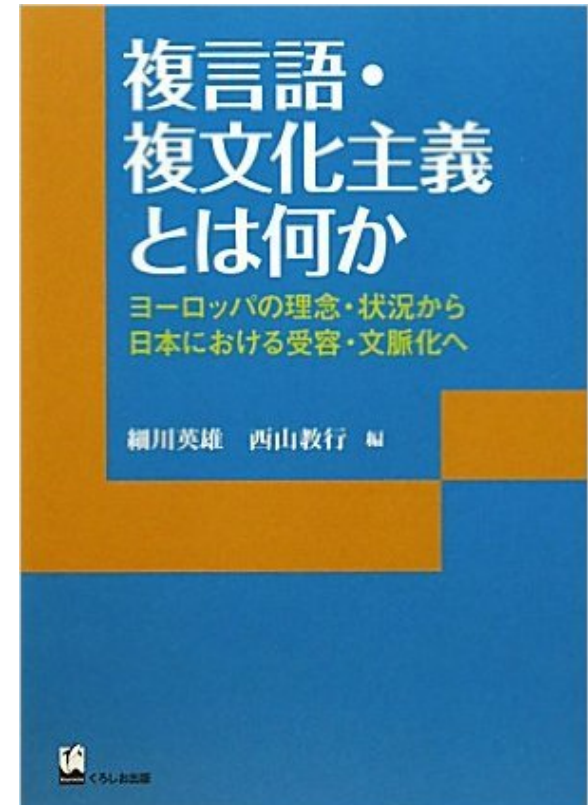
- 本研究室では、歴史、社会、文化など人間を取り巻くさまざまな環境のなかで外国語教育の様態を検討し、外国語教育は何をめざすのか、社会でどのような役割を担うのか、どのような制度のもとで実践されるのかなどを考察します。
- このため、社会のなかで言語にどのような地位と役割を与えるのかを批判的に検討する言語政策の方法論を参照し、学校という社会における言語のあり方に迫ります。

## 最近の研究成果より



- 「複数言語の交差から生まれる言語教育学の可能性：『ヨーロッパ言語共通参照枠』の成立をめぐる英語とフランス語の位相」, 『ことばの教育を問い直す—8つの異論をめぐる—, 森住衛教授退職記念論文集』 (2015)
- 『「グローバル人材」再考 - 言語と教育から日本の国際化を考える』 (2014)
- 『マルチ言語宣言-なぜ英語以外の外国語を学ぶのか』 (2011)
- 『複言語・複文化主義とは何か・ヨーロッパの理念・状況から日本における受容・文脈化へ』 (2011)

# 最近の研究成果より



## 院生紹介

- PD : 大山万容, 許 之威
- OD : ライハングル, 程 遠巍, 柳 美佐
- 博士課程 : 赤桐 淳, 金ボラ, 濱嶋 聡
- 修士課程 : 許 多, 中村未樹, 行木耀平, 魚住千晶, 朱 美霖
- 学部生
- 研究生 : 劉 天嬌, 賈 倩

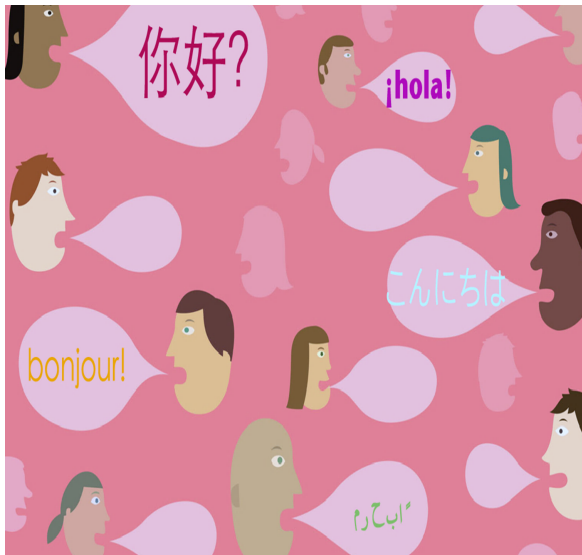


6

## 言語への目覚め活動



- 日本では「外国語ができる = 英語ができる」と思われがちですが、世界にはいくつもの言語を同時に使ったり、学んでいる人がたくさんいます。
- 「1つの外国語だけ学ぶ」ではなく、さまざまな外国語を同時に使って、ことばを学ぶ教育法について研究しています。
- 大山万容（おおやま まよ）PD



# 「継承語」って知っていますか

- 例えばハワイやブラジルに住む日系〇世といわれる人たちのように、**移民のことば**は世代を経て現地語にシフトしていくのが一般的です。



8

死滅アボリジニ言語復興プロジェクトとその学習意義

- 彼らの**両親や祖父母が話していたことば**は、彼らにとって外国語ではなく「継承語」にあたります。継承語を学ぶことは、人のアイデンティティ形成に大きな影響を与えるといわれています。
- 日本国内にもたくさんの移民のこどもたちがいます。外国人学校もたくさんあります。その中で最も生徒数の多い**朝鮮学校の継承語教育**について研究しています。



## 言語には文化が反映されている



- 言語は単にコミュニケーションの道具だけではありません。
- 言語を習得すれば、それを使う人々の考え方やその人々が住んでいる国について知ることができます。さらに自分の国と異なる文化を理解し、「寛容」の態度で接することができます。
- このようなヨーロッパで生まれた教育思想は、東アジアの国々にも活用できると考えています。
- ヨーロッパ発の言語教育思想である『ヨーロッパ言語共通参照枠』の中国と台湾における受容の実態について研究しています。
- 程遠巍(CHENG, Yuanwei),OD

(中国東北地方のハルビン=哈爾濱の出身です。左の写真は市内にあるロシア正教の聖ソフィア教会です。)

# 死滅アボリジニ言語復興プロジェクトとその学習意義

- 濱嶋聡（はましま さとし）

- 後期博士課程 3年



10

- 研究テーマ：ヨーロッパ（イギリス）人がオーストラリア大陸への入植を開始する以前までは、ドイツ語とフランス語間の相違と同じ程度の違いのアボリジニ諸語が約250語存在していました（Macquarie大学言語研究所による）が、現在では50以下に減少し、毎年1言語が消滅していく状況にあります。現在、オーストラリアではそのような死滅言語を例えば、宣教師が記録した資料をもとに復活させて先住民のアイデンティティ維持に活かすプロジェクトが各地で行われていますが、その学習の意義と、政策と現状のギャップを埋めるためにどのような試みがなされているのかについて現地調査をもとに研究を続けています。

## 多言語環境に置かれる児童



11

- グローバル化の深化とともに、留学や就労などのため異なる言語文化を持った人々が移住するようになりました。なかでも韓国からの訪日者は多く、また韓国は英語に対する教育熱の高い国として知られるなかで、英語習得のため英語圏へ留学する韓国人も珍しくありません。
- そんな中、来日する韓国人のうち子どもをインターナショナルスクールへ通学させ、外国語習得を強化する家庭も少なくありません。彼らは学校では英語、家庭では韓国語、それ以外の場所では日本語に接し、日常生活の中で多言語環境を体験することになります。
- 以上のような、言語形成期を多言語環境に置かれる日本滞在の韓国人児童に関する研究をしています。

博士課程：金ボラ

# Q：あなたはなぜ日本語で話しますか？

この質問に「日本人だから当たり前」と考える人が多いと思います。

しかし、この「〇〇語」と「〇〇人」との関係は、東アジアでわずか100年ほどの歴史しかありません。

「当たり前」ではなく、19世紀に、ある必要から人為的に作られた感覚なのです。

今後、国際化と少子化が進めば、言葉と社会の関係は、大きく変化すると考えられます。

私は、未来の東アジアの言語社会を考えるために、西山研で過去（19世紀）の中国の言語教育政策を研究しています。

博士課程1年 赤桐敦（あかぎり あつし）



12

修士課程 2年 中村未樹

ハラール認証の言語表示について  
研究しています。

最近、こんな表示を見かけたこと  
ありませんか？



これがハラール認証の表示です。  
京都大学の中にある学食やレストランにも  
あります。

これはだれが必要としている表示だろう？  
どこの地域のどんな言葉を話す人？  
よくわからない文字が書いてある。  
これは何語だろう？（アラビア語です）  
...でも、なんで説明は英語なんだろう？  
どこで貰えるものなんだろう？  
どうしてこんなのができたんだろう？  
グローバル化と関係あるのかな？

といったことを考えています。



@京都大学 学生食堂ルネ



## 研究テーマ 「満洲国」における日本語普及政策下の言語接触 — 接触言語としての「協和語」をめぐって —

### きっかけ

現代中国語東北方言には、日本語の語彙が多く残存していることに興味津々

### 時代背景

- 1932～1945年に、中国東北部に「満洲国」が存立
  - 当時の植民地政策の一環として学校教育・社会教育における日本語普及政策の実施、日本語の地位の向上
  - 現地人の日本語の習得・使用、日本人の移民の中国語との接触
- 中国語と日本語が混合した接触言語が生じた  
—— 「協和語」

### 「協和語」の具体例（日本語の語彙が混入した言葉）

- 日本語の音訳による中国語  
「例：轆轤馬（車）、晚霞子（ワイシャツ）、  
欧庫桑（奥さん）…」
- 日本語語彙の直接借用  
「例：郵便、出荷、便所、写真、放送…」



### 研究目的

「満洲国」の社会的背景下の日本語と中国語との相互接触・混融によって発生・発展した「協和語」に焦点を当て、多様なデータを用い、当時の社会・教育状況と結びつけ、「協和語」の形成要因や特徴、使用場面を解明すること

# 「何でみんな、英語を学んでるんだらう……？」

この素朴な疑問から、私は、日本人が英語を学ぶ意味は何だろうと考えるようになりました。

私は、昔から英語を学習するのは入試があるからでした。もし入試がなかったら英語の勉強をしていたようには思えません。

カタカナ  
英語

ネイティブ

入試を課しているのは、政府の教育政策です。それはつまり、政府が英語をみなさんに学んでほしいと考えているということになります。

「グローバル人材」という言葉に耳にしたことはありませんか？これは、英語教育を通じて、政府が育成しようとしている人材です。しかし、そもそも「グローバル人材」ってどのように定義するのでしょうか？私はこのような言語政策の問題について研究しています。

World  
Englishes

Bilingual  
Semilingual

Globalization

修士1年 行木耀平 (なめき ようへい)

修士1回生(2015年度入学)：

魚住千晶(うおずみ ちあき)

- 兵庫県神戸市出身
- 文学部 フランス文学・語学専攻 卒業
- 研究予定テーマ：「日本における生涯学習としての、英語以外の外国語教育の現状と課題」







17

- 朱 美霖 (しゅ みりん) 修士1回生
  
- ・中国遼寧省出身、2009年来日
- ・三重大学卒業：日本語教育コース
  
- ・今後の研究方向
  
- 日本語も英語も、世界に何千とある言語の一つであるとう立場をとることによって、日本語が世界の諸言語の中でどのように位置にあるかを知りたいです。今日、普遍的に英語を習得する世界社会では、日本語に目を向ける必要があるのではないかと私は考えました。そのため、中国の東北地区（遼寧省瀋陽市の中等教育を中心に）における日本語教育のあり方を明確した上で、存在する教授法等の不足や問題点を認識し改善することを目的とし、修士論文を作成していきたいと思います。



18

- 研究生：劉 天嬌（リュウ テンキョウ）
- 中国遼寧省出身の研究生 劉 天嬌と申します。
- 世界各国の言語政策に興味を持ちまして、西山先生のご指導の下で、勉強しております。
- 研究についてはまだ未熟ではありますが、今は日本に設置する中国政府の言語普及機構である孔子学院について、研究計画を書いております。

## 研究生

- 賈 倩(カ セイ)
- 出身大学: 中国西北大学
- 中国湖南省出身
- 日本語教育について興味をもちまして西山先生の下にご指導を頂いております。今は、多様化した学習ニーズに対応する中国大学のカリキュラムの研究をテーマとして研究計画書を書いております。

